



News Release

ボーイング、三菱重工、川崎重工、富士重工 ～東京大学生産技術研究所と製造技術に関わる共同研究を開始～

2012年6月28日 東京発 ボーイングと日本における航空機製造主要パートナーである三菱重工業、川崎重工業、富士重工業（以下 参加企業）は本日、東京大学生産技術研究所（以下 東大生研）と製造技術に関する共同研究を開始することを発表しました。また、それと共に、産学連携の新たな枠組みであるコンソーシアムの設立に向けた協議を実施することにも合意、覚書を締結しました。

開始を決定した本共同研究は、2012年より東大生研の下で開始し、当初はチタニウム、アルミニウム、複合材の切削加工に関する技術開発に取り組み、コンソーシアム設立後は製造技術に関わるより多様な研究開発を行う予定です。

東大生研と参加企業は、今後コンソーシアムの設立に向けて詳細を決定してまいります。まずは5年間規模での活動とし、参加企業による出資の他、政府機関公募事業への参加による資金調達も含め、検討を進めていく予定です。

なお、研究項目の詳細は東大生研と参加企業が共同で決定し、業界が直面する製造技術に関わる共通の重要問題に取り組んでまいります。研究開発作業は、東大生研の教授陣が主導し、主にその技術スタッフが実務を担当、参加企業も各研究開発を支援してまいります。

今回の合意で、参加企業の有する航空宇宙業界における専門製造技術力、東大生研の研究能力が調和、一体化されることから、コンソーシアムの設立後は、航空宇宙分野に限らず、日本の製造業全体の活性化も視野に入れ、将来的には幅広い業界の企業各社に参加を呼び掛けてまいります。

以 上